平成 29 年 12 月 20 日　就職支援セミナー

株式会社北陸銀行　富田美穂

自己紹介

＊平成 27 年 3 月、富山外国語専門学校を卒業。4 月、富山大学人文学部英米言語文化コースに 3 年次編入学。
＊学生時代のゼミは英米コース赤尾千波先生。卒論では、映画『グローリー』でどのように公民権運動が描かれているかを研究した。
＊平成 29 年 3 月、富山大学人文学部卒業。4 月から株式会社北陸銀行速星支店に勤務。

就職活動について―当初の希望職種

英語を使って仕事をしたい。旅行が好きなのでそのような事業に携われる仕事に就きたい。
→旅行会社、航空会社志望だった。

就活に向けた動き

大学 3 年
5 月
富山県インターンシップ推進協議会のインターンに申込。その他、毎週水曜に大学で開催されていた就職ガイダンスを受け始める。
9 月
5 日間のインターンシップ（旅行会社）
12 月
インターンシップリクナビイベントや就活セミナー参加（金沢、富山）
2 月
1 day インターンシップ（印刷会社）（北陸銀行）銀行に興味を持つきっかけになった。
マイナビ就活準備フェアに 2 回ほど参加。
3 月
就活が本格的に開始！
・興味のある企業にプレエントリーをする。合同企業説明会に通う日々…合説に行けば行くほど、色々な企業との出会いがあり、自分の志望業界が分からなくなる時期がくる。
・県内では金融を中心に説明に参加する一方で、製造業の事務や総務の話も聞きに行くも、

興味を持って聞くことが出来ず、断念。
・他大学の友人と話す中で、この時期に既に内々定を貰っている友人も数名いて、焦って何も手に付かない時期もあった。
・参加した合説…リクナビ金沢、名古屋、富山、キャリタス東京、富大合同説明会（3 月中に参加した合説 9 回）今思えば、行き過ぎだったかも…。

3 月中旬
北陸銀行と富大提携の大連トレーニー研修に参加。（北陸銀行を選ぶきっかけとなった）

3 月下旬
個社説明会に参加し始める。製造業、銀行、旅行会社など幅広く。

大学 4 年

4 月
個社説明会、選考始まる、エントリーシート提出。

5 月
面接を受ける。中旬、初めての内々定を頂く。

6 月
面接を受ける。上旬、北陸銀行の内々定頂く。最終的に 2 社で悩んだ末、北陸銀行に決め、6 月 30 日就活終了。

―エントリーした会社数―
１０～１５社…金融、旅行会社、航空会社など
―最終的に内定を頂いた企業―
県内の銀行など 4 社

番外編―就活のために準備したもの

・証明写真…生協で予約（1 月下旬に撮影）
・名刺…生協で作成したが利用する機会なし。
・替えのスーツやブラウス購入（黒スーツ 2 着で着回ししていました）
・就活用に化粧品をいくつか買い足し。ポイント：「健康的に見えるメイク」

自己分析について

・マイナビの「お願い！他己分析」を利用して身近な友人に他己分析を依頼。
→自分のことは自分しか分かっていない部分もあるが、他人の意見を聞いてみると考えもしていなかった自分の一面に気付くこともあり、便利なツールだった。

・自分の今まで（中学生あたりから）の人生を振り返って、簡単なグラフを作ってみた。
→なぜそう思ったのか、なぜそのような行動を取ったのか、自分の過去の行動について問いかけて思い出し。ビジュアル化してみると、見えてくる自分の一面がある。
・ヤングジョブ富山に通い、スタッフと一緒に自己分析、エントリーシートや履歴書の添削を受ける。（富大の就職支援センターよりも厳しく指導してくださったという印象）

筆記試験やＳＰＩ対策

・ＳＰＩについて
専用の参考書を一冊購入するも、ほとんど手をつけず…就活のために勉強しなければいけないと思うとなかなか気が進まなかったので、日頃から幅広く知識をつけておくことが大事だと痛感した。全教科網羅することが難しいなら、自分の得意分野だけでも良い点数を取れるように極めておくのが良い！
・新聞記事
図書館の新聞コーナーで立ち読みするようにしていた。日経新聞の過去のものを遡って（日経のウェブサイトから検索）志望業界に関する記事を印刷してノートを作った。

面接対策

・実際に企業の選考を受ける中で徐々に感覚を掴んで面接会場の雰囲気にも慣れていった。
・受け答えは明るく笑顔で。ハキハキ話すことが大事！伝えたい事は端的に話せるように事前に練習しておく。（直前には、スマートフォンで自分の声を録音して話す速度や話し方の癖などもチェックした。）

就活における反省点

・序盤に合説に行き過ぎたために、自分が本当になりたいもの、したいことが分からなくなる時期があった。
→他の業種も見て視野を広げるのは大事なことだが、解禁する前にある程度業界研究をしておくと３月以降過度に悩みすぎることがなかったのかも。
・友人と情報交換や就活の状況について話す機会も多くなる。周りと自分を比べて一喜一憂しがちだった。
→周りが順調に選考に進んでいたり、早々に内々定を貰っていても自分は自分のペースを保って就活を進めるのみ。周囲に飲み込まれて自分を見失わないようにする精神を持つ方がよい。

・結局決めきれずにいろんな会社を受けすぎた。
　→どれかがダメだった時のためにと思って持ち駒を増やし過ぎて、特に 4 月はそれぞれの会社のエントリーシートや履歴書の締め切りに追われた。また説明会の参加で体力を費やし疲労困憊。本命企業を早くから決めて、その企業や業界のために全力を尽くす方法もあったかなと思う。
・有難いことに内々定をいくつか頂くことが出来たが、受けすぎると何社にも最後に断りの電話を入れることに。そのたびに心が痛む。神経をすり減らし、一苦労であった。

大学の授業で就活に関して特に役立ったと感じたもの

・キャリアデザインの講義…外部講師の方の話を参考に、自分の将来について意識するきっかけになった。
・ゼミの授業…プレゼン方式の授業だったので、人前で話すことに慣れる大変良い機会だった。今思うと、自然と面接練習にも繋がっていたと思う。
・就活スタート前の事前ガイダンス…参加自由のものだったが、就活への意識を高めるため、少しでも就活についての不安を取り除くために出ておいて良かったと思った。

今の会社に決めた理由

＜どうして金融機関のなかでも銀行に決めたのか＞
　生きていくためには必要不可欠なお金だが、時には向き合っていくのも難しい時がある金銭面。自分がお金の知識を身に着け、その知識でお客さまにより良い商品を提案したり、伝えることでお客さまの日々の暮らしのお手伝いがしたいと思った。銀行では保険販売や投資信託も扱っているので、幅広く取り扱える柔軟さにも魅力を感じた。

＜数ある銀行のなかでどうして北陸銀行なのか＞
　きっかけは 3 年生の 2 月に受けたインターンシップと 3 月に参加した大連トレーニー研修。実際に入行された先輩方との座談会で話を伺う機会が多く実際に一緒に働くことになる先輩方の雰囲気が身近に感じることができた。
　地方銀行ながら都市にも支店を持ち、さらに海外にも事務所を持つ北陸銀行。また、富山県に本店を持つ金融機関のなかでも県内に支店を一番多く持ち、様々なお客さまと繋がりがあるという点から、視野を広く持って働けるのではないかと感じたので。

現在の業務内容

銀行後方事務

・オペレーター…振り込み、預け入れや引き出しをパソコン上で操作する。
・諸届の受付…住所変更の受付や、キャッシュカードを失くされたお客さまへの対応。
・為替…企業からの給与振り込みの受け入れ、約束手形の受け入れなど。
・出納…店内の全ての現金を管理する。店舗に設置されているＡＴＭのお金の動きをチェックして、現金が不足しないようにお金をいくら入れておくか決める。15 時にお店のシャッターが閉まったら、その日の勘定の締め。現金を合わせる。
・ロビー・アテンダント…店舗の入り口でお客さまをお出迎えし、ご用件を聞いて番号札をお渡ししてご案内する。伝票の書き方やＡＴＭの操作方法の説明を行うこともある。

1 日のスケジュール

6：15　起床
7：45　電車に乗る（北陸銀行では 1 年目は公共交通機関で通勤）
8：00　店の花壇の花の水やり、店舗周辺のゴミ拾い
8：30　店の鍵が開く、開店の準備、朝礼
9：00　営業開始
15：00　営業終了、締めの作業に入る
16：00　終礼、ロールプレイングで応対の練習、日々更新される事務手続きの勉強会など。
18：00　退行

その他北陸銀行について

・採用枠は①総合職②エリア職③事務職
　自身はエリア職採用（出身県内のなかのみで異動があるコース）
　今年入行した同期の数は全コース合わせて 160 人
・研修…大学卒業直前の 3 月に新入行員研修としてエリア職、事務職の同期が全員集まって 10 日間泊まり込みで研修があった。そこで配属先の通知があった。
　4 月 3 日の入行式が終わった後、その足でそれぞれの配属先へ向かい、着任。
　※総合職は 4 月から約 1 か月半の研修があり、5 月下旬に支店配属という流れだった。
・入行後も定期的に研修あり。研修が充実しているという印象（泊まり込みのスクーリン

グや、預金事務研修、諸届研修、窓口研修など１日のみの研修もあり）
・組合の行事や会社で参加する地域のイベントが多くある。
（例）富山まつりでおわら踊り、富山マラソンボランティア、地域のボーリング大会やソフトボール大会、組合ＢＢＱ、クリスマスパーティー、組合学校など。
・休暇…基本的にはカレンダー通り、土日祝日休み。
会社の休暇制度として、1 週間休暇（年に 1 回必ず取得)、アニバーサリー休暇、ジョイフル休暇など用意されている。

実際に銀行に入ってみて感じたこと

・試験や資格取得に向けた勉強がとても多い。(2 か月に 1 回くらいのペースで試験)
・日々の業務はダブルチェックが欠かせない。お客さまが記入された書類に不備がないか、振り込みの金額が正しいか（手数料など）など「何か間違っているのではないか」という疑いの目を持って取り組まないといけない。一人で成り立つ仕事はほとんどないので、常に互いに声を掛け合って行うチームプレーである。速星支店は県内の北陸銀行の支店でもトップ 3 に入る来客数で、店内は毎日活気に溢れている。学生や主婦の方、会社関係の方やお年寄りまで、たくさんのお客さまと関われる。

学生の皆さんへ

☆早めに行動することに越したことはないが、取り組み出すのが遅かった…と後悔する必要はなく、悔やむ時間があるならその時に出来ることを全力で取り組むのみ！
また、学内で掲示されているイベントなどはこまめにチェックして大学主催のセミナーや募集されているものには是非積極的に応募したり参加したりして欲しい。

☆就活を通して悩むことは沢山あると思うけれど、今の頑張りがどんな形であろうと未来の自分に良い形で繋がっていく。3 月から全力疾走で頑張っていると 4、5 月に疲れ切ってくる時期が必ずくる。心身ともに疲れ切ってしまうので、メリハリをつけて活動するのが良い。リフレッシュは大事です！

☆就活の方向性を決める時にはあれこれ悩んで悩んでどうしようもない時もあると思いますが、時には自分の直感を信じて行動することも大事だと思います。長いようであっという間の就活ですが、頑張ってください！